

宗方拡幅

国道442号

かわら版

平成30年10月
第1号



かわら版第1号を発信します

この度、大分土木事務所では、国道442号の道路改築事業（宗方拡幅）での取り組みや作業の状況を地域のみなさまへ情報発信していくことにしました。少しでも地域のみなさまにとってお役に立てる情報となるようにしていきますのでご一読いただければ幸いです。

事業概要

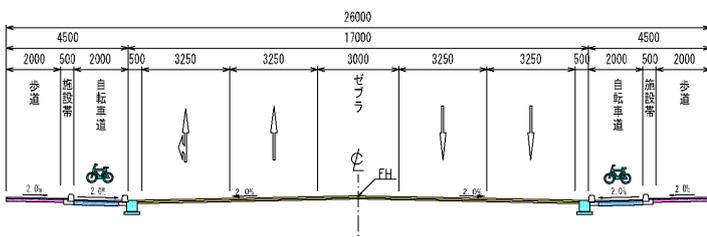


宗方拡幅事業は宗方地区の慢性的な交通渋滞の解消、歩行者・自転車通行時の安全性、快適性向上のため、国道442号の松が丘団地入口交差点から萌葱台団地入口交差点間の延長約1.7kmに渡って整備するものです。

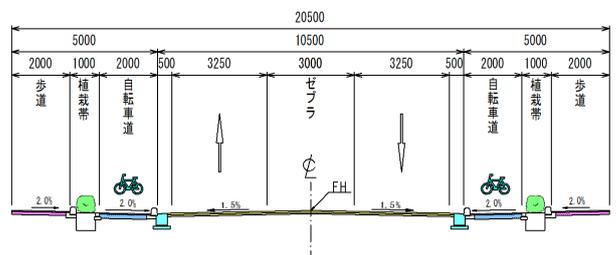
この区間は現在、バスの停車待ち、右折待ちの車両を起点とした渋滞が発生しています。また、周辺の学校の児童・生徒の通学路となっていますが、朝の通学時間帯は自転車の利用も多くの歩行者がすれ違うのも難しい状況となっています。そのため、車道を4車線および2車線で拡幅し、合わせて、歩道と自転車道の整備も行います。



●計画断面図(4車線区間)



●計画断面図(2車線区間)



無電柱化事業の実施について

国道442号の道路改築事業に併せて無電柱化事業を実施します。無電柱化とは、電線を地下に埋設して、地上から電柱・電線を無くすものです。無電柱化事業により、災害時の電柱の倒壊の恐れがなく、円滑な救援・支援活動が可能になります。また、沿道景観の向上が期待されます。

なお、無電柱化事業の実施に伴い、事業完成予定が平成33年度から平成36年度に変更されます。



■熊本地震時の電柱倒壊例

事業経過



平成26年度から事業に着手し、道路詳細設計、事業説明会、境界立会を経て、平成28年から用地買収を進めて参りました。

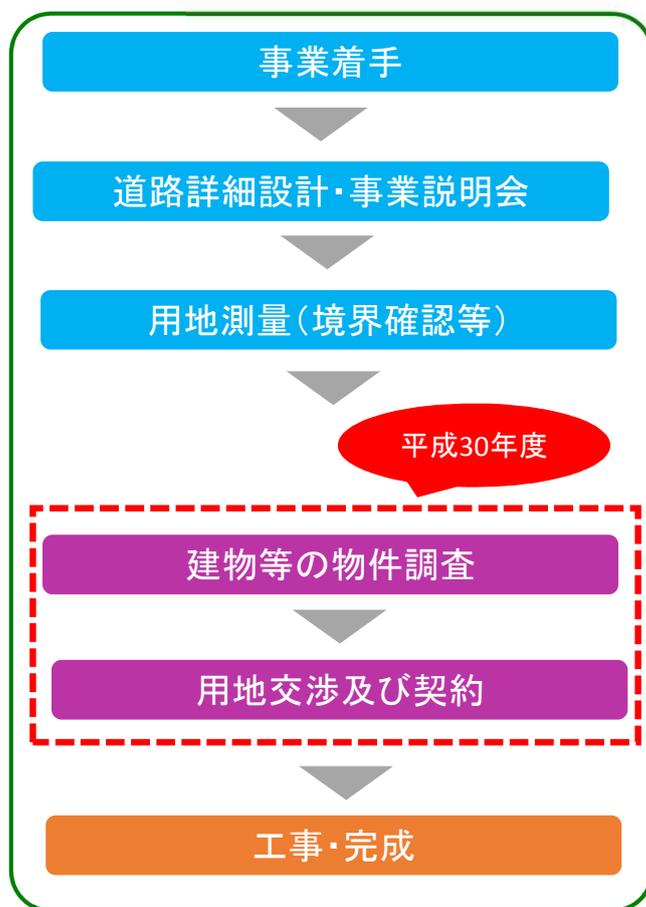
4月時点で用地進捗率(面積ベース)は約28%になります。工事については、まとまった規模で用地買収および建物等の撤去が完了したところから順次、工事を実施します

今年度の予定

今年度は主に大分銀行植田支店跡地から雄城台高校入口間、下芹交差点から萌葱台団地入口間の建物等物件調査および用地交渉を行っています。

建物等物件調査は県と契約している調査会社が工事の影響により移転が必要な建物等の補償額の算定を行うものです。また、用地交渉については大分県が委託している大分県土地開発公社が行います。

事業の流れ



お問い合わせ先



日本一のおんせん県

大分県大分土木事務所 TEL: 097-558-2148

工事担当)道路建設課 改良第二班 赤嶺・汐月

用地担当)用地課 用地班 高橋

大分県土地開発公社 用地課 前川・迫部